18 iStorage NS の管理

18.1 管理形態

iStorage NS は、リモートの管理 PC からネットワーク経由で稼動状態の監視、構成管理、障害監視といった管理が行えます。

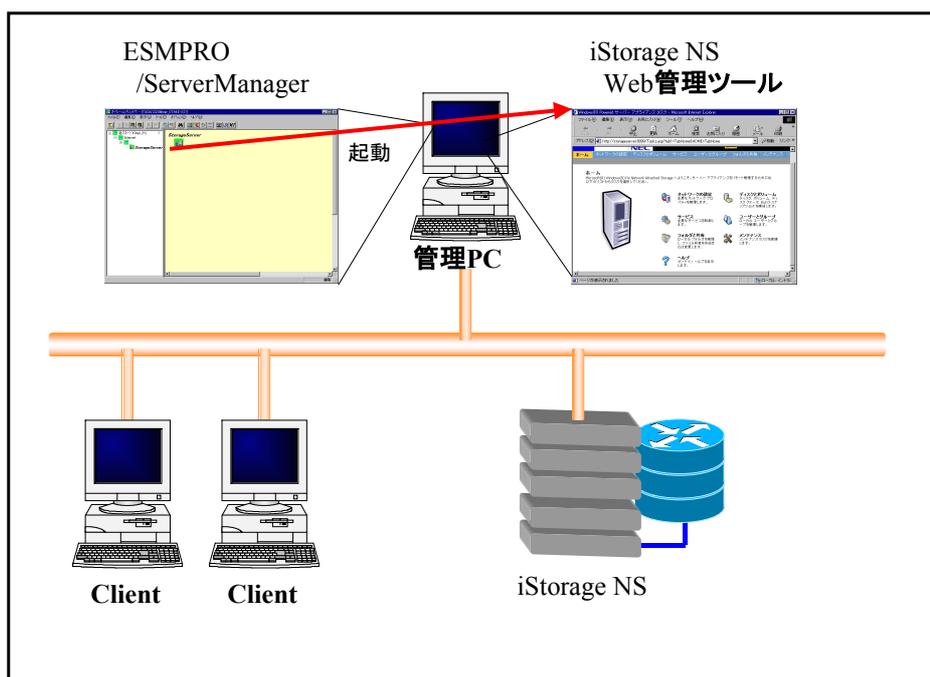



図. iStorage NS の管理

iStorage NS の管理形態として、

◆ ネットワーク上の他の Express サーバーと同様に管理する。

◆ iStorage NS 単体を管理する。

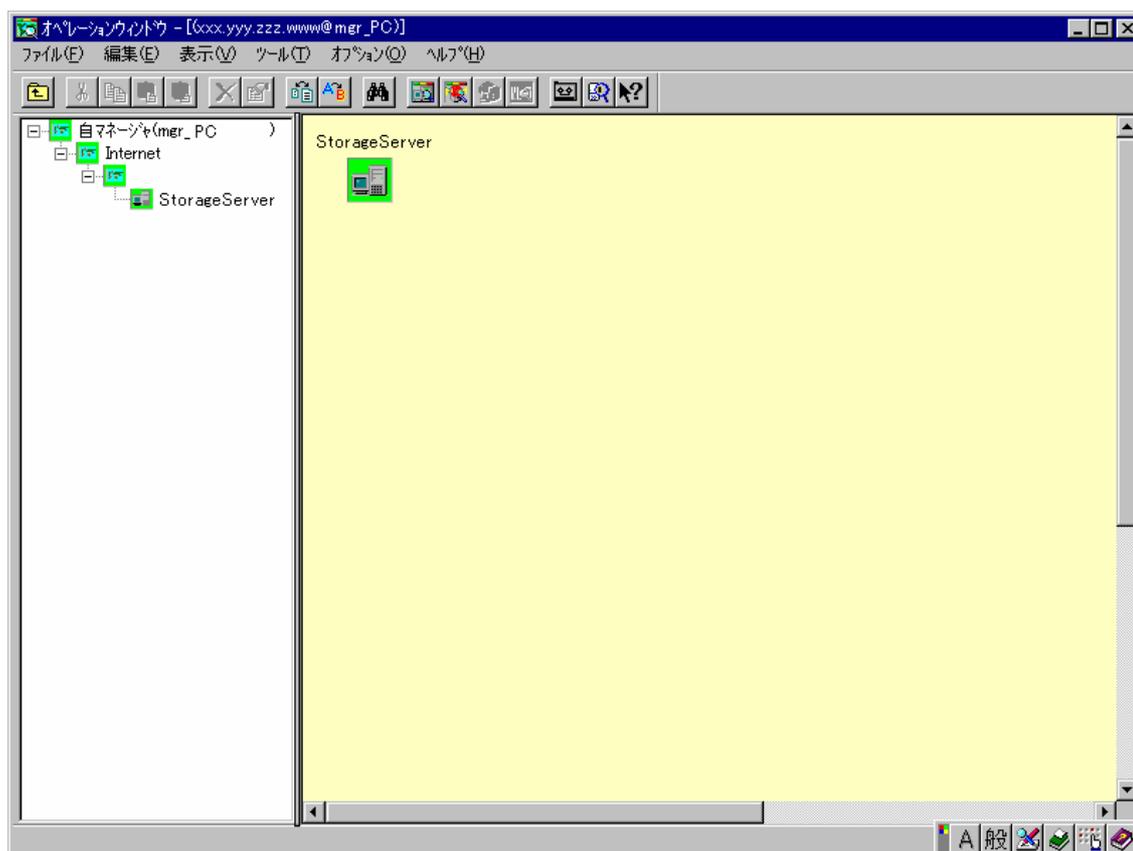
といった、二つの管理形態が考えられます。ネットワーク上の他の Express サーバーと同様に iStorage NS を管理する場合、他のサーバーの管理に使用している ESMPRO／ServerManager で管理を行います。ESMPRO／ServerManager から、稼動監視や構成管理といった管理機能を利用でき、更に iStorage NS の Web 上の管理ツールを起動することで共有等の管理も可能です。他の Express サーバーと同様に iStorage NS を管理する事で、システム全体の管理の一部として、iStorage NS の管理を組み込む事ができます。ESMPRO／ServerManager は、添付の「iStorage NS 保守・管理ツール CD-ROM（iStorage NS22P[NF8100-119] / NS42P の場合は EXPRESSBUILDER(SE)CD-ROM）」からもインストール可能です。インストールの方法、使用方法の詳細は、ユーザーズガイド、ESMPRO／ServerManager のオンラインヘルプ等を参照して下さい。

ESMPRO／ServerManager で iStorage NS を管理対象に加えるには以下の手順で行います。

① 管理 PC 上で「スタート」－＞「プログラム」－＞「ESMPRO」－＞「統合ビューワ」を起動する。

② 「ツール」－＞「自動発見」－＞「手動起動」－＞「TCP/IP ホストの発見」を選択

③ 「アドレス指定」で iStorage NS が属しているネットワークアドレスの範囲を指定して、自動発見を開始する。

④ iStorage NS が発見され、アイコンが表示される。

図．ESMPRO／ServerManager 統合ビューワ

また、ESMPRO／ServerManager（「iStorage NS 保守・管理ツール CD-ROM （**iStorage NS22P[NF8100-119] / NS42P** の場合は EXPRESSBUILDER(SE)CD-ROM）」内）で WebUI(iStorage NS 管理ツール)を起動するには、以下の手順で行います。

① 管理 PC 上の統合ビューワで、画面左のツリーにある iStorage NS のアイコンを選択して右クリック

② 「WebUI」メニューを選択

③ 管理ツールが起動する。

一方、他のサーバーとは別に iStorage NS 単体を管理する形態もあります。こちらは、iStorege NS の管理用の PC 上でスタートメニューから ESMPRO／ServerManager を起動して稼動監視、構成管理などを行い、また 3.3 節で説明した方法で Web 上の iStorage NS 管理ツール(WebUI)を起動して共有の管理を

行います。ESMPRO／ServerManager と iStorage NS 管理ツール(WebUI)は、同一の PC 上にある必要はありません。稼動監視、構成管理等を行う管理 PC と共有の設定・管理等を行う管理 PC が別々の PC という形態も可能です。各管理を行うには以下の手順で行います。

① 管理 PC 上で「スタート」－＞「プログラム」－＞「ESMPRO」－＞「統合ビューワ」を起動して稼動監視、構成管理等を行う。

② 管理 PC 上で「スタート」－＞「プログラム」－＞「Internet Explorer」等でインターネットエクスプローラを起動し、共有の管理等を行う。（3.3 節参照）

18.2 運用中の監視

ESMPRO での監視

定常的に ESMPRO／ServerManager により iStorage NS の状態を監視してください。

iStorage NS の状態

WebUI を使用するときはサーバー名の下の[状態] 領域に注意してください。

表示には、次の 4 種類があります。

[正常] (緑色の文字)

[情報あり] (灰色の文字)

[警告] (黄色の文字)

[重大] (赤色の文字)

[警告]や[重大]のときは状態ページを参照して下さい。

WebUI での状態の表示

プライマリナビゲーションバーから「状態」を選択することで、iStorage NS での状態を表示できます。左側に警告や重大を知らせるページが、右側に使用中の共有の状態が表示されます。各メッセージをクリックすることで、詳細情報を表示します。

通知電子メール

警告発生時に、管理者に電子メールを発信して知らせることが出来ます。プライマリナビゲーションバーから「メンテナンス」－「通知電子メール」を選択して設定を行います。「宛先」にメールを送信したい iStorage NS の管理者のメールアドレスを指定します。また、SMTP ゲートウェイサーバーが必要な電子メールをご利用の場合は、SMTP ゲートウェイサーバー名または IP アドレスを入力します。SMTP サーバーについては、メールシステムの管理者にお問い合わせください。

Telnet

「ネットワーク」－「Telnet」で iStorage NS に Telnet で接続させるかどうかを設定できます。ただし、Telnet 接続することは可能ですが、保守目的以外で iStorage NS 上でプログラムを動作させることはできません。ご注意ください。

その他

DISK 装置のランプ等が異常を示していないかに注意してください。

18.3 トラブルシューティング

18. 3. 1　ESMPRO/ServerManager での異常箇所の特定

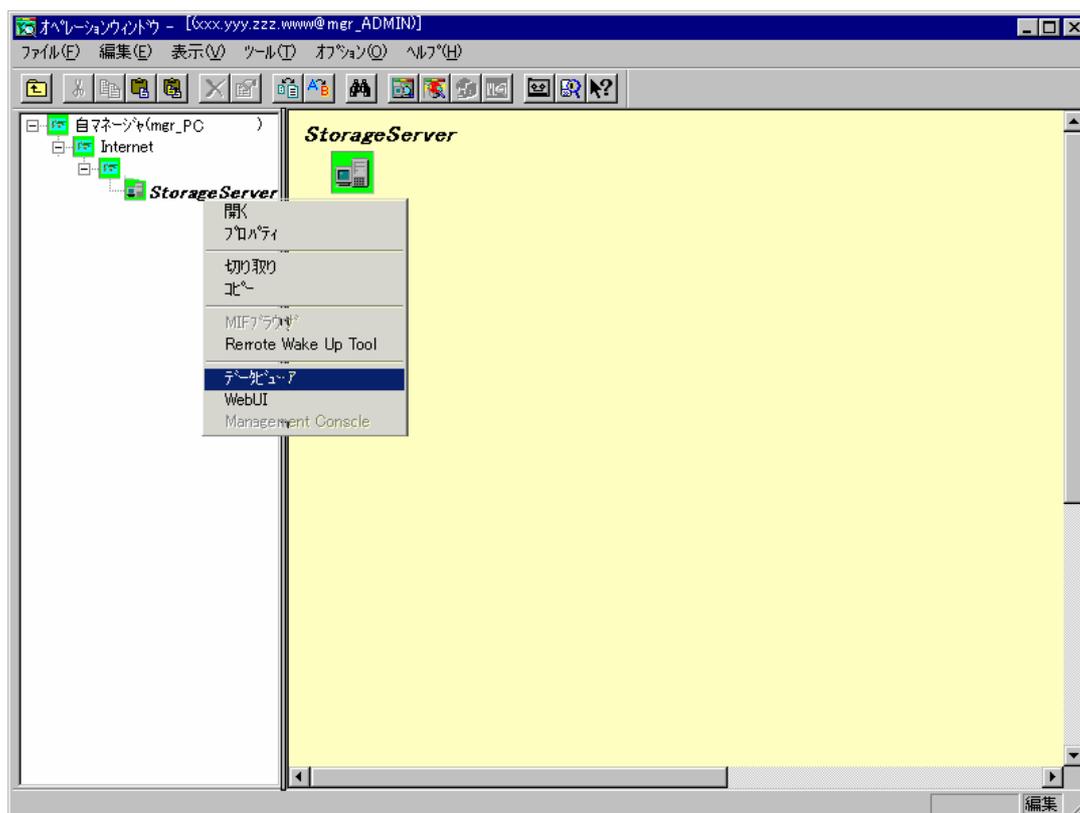
ESMPRO/ServerManager 上で iStorage NS を監視している際に､iStorage NS を示すアイコンが[警告]（黄色）や[異常]（赤色）を示した場合、iStorage NS 上の部品が故障した可能性が有ります。この場合、以下の手順でどの部分に異常・警告が発生しているかを特定し、対処を行って下さい。

① ESMPRO/ServerManager のウィンドウで、左側のツリー構造上の対応する iStorage NS を示すアイコンを右クリックする。

② メニューから｢データビューワ｣を選択する。

③ データビューワのウィンドウで、異常･警告の出ているアイコンを探し、その発生箇所を特定する。

④ 各構成情報のツリーを開いていく事で、その部品の詳細情報を見る事ができる。

Ex.｢ストレージ｣－｢ハードディスク｣－｢[1]ハードディスク｣－｢xx 情報｣等を見る事で、このハードディスクの詳細な情報が表示されます。

図．データビューワ起動

詳細は、ESMPRO/ServerManager のヘルプを参照して下さい。ESMPRO/ServerManager のヘルプはインストールした管理用 PC の「スタート」メニューから「ESMPRO」を選んで表示されるメニューから「ESMPRO/SM」や「データビューワ」のヘルプを選択して下さい。

18. 3. 2 iStorage NS の出力するログについて

iStorage NS の運用中、ソフトウェアが警告やエラー情報等のメッセージを出力する事があります。ログには、

- アプリケーションログ
- システムログ
- セキュリティログ
- Web 管理ログ
- NFS ログ
- Web(HTTP)共有ログ
- FTP ログ

があります。各ログの参照／削除は、以下の手順で行います（ただし、NFS ログは後述)。システムに影響を与えないように管理してください。

ログの参照方法

① プライマリナビゲーションバーから、「メンテナンス」を選択する
② 「メンテナンス」ページで「ログ」を選択する
③ 「ログ」ページで参照したいログ選択することで、iStorage NS が出力する各ログが表示される

アプリケーションログ、システムログ、セキュリティログの削除方法

① プライマリナビゲーションバーから、「メンテナンス」を選択する
② 「メンテナンス」ページで「ログ」を選択する
③ 「ログ」ページで削除するログの種類を選択する
④ タスクの「ログの消去」をクリックする
⑤ 消去確認画面が表示されたら「OK」をクリックする

Web 管理ログ、Web(HTTP)共有ログ、FTP ログの削除方法

① プライマリナビゲーションバーから、「メンテナンス」を選択する
② 「メンテナンス」ページで「ログ」を選択する
③ 「ログ」ページで削除するログの種類を選択する
④ 削除するログファイルを選択し、タスクの「消去」をクリックする
⑤ 削除確認画面が表示されたら「OK」をクリックする

【注意】NFS ログの管理

iStorage NS の NFS 共有（Service for UNIX）のログは上限値に到達すると、以降のログイベントは切り捨てられます。ログの採取漏れを防ぐには、以下の方法で新しいログファイルを作成してください。

新しいログファイルは、WebUI の[メンテナンス]のターミナルサービスを使用して、[スタート]メニュー-[プログラム]-[Windows Services for UNIX]-[Services for UNIX Administraton]を起動し、[Server for NFS]-[Logging]画面を開き、新しいログファイルのパスを設定した後に右上の[Apply]を押す事で作成されます。作成後に既存のログファイルを必要に応じて削除してください。

ログファイルの表示には重要な CPU リソースを使用することなりますので、ログを頻繁に表示しないでください。WebUI のターミナルサービスを使って iStorage NS に接続後、[スタート － プログラム － Administrative Tools － Computer Management]を起動して、[イベントビューア]を選択し、確認されることをお勧めします。

18.4 注意事項

iStorage NS を導入・運用するにあたり、いくつかの注意事項があります。本書の各章内にも関連項目の注意事項を記述しています。あわせてご注意ください。

1) 「メンテナンス」－「ソフトウェア更新」のメニューは、修正モジュールの一部の適用に使用します。当社からの連絡がある場合のみ、ご利用ください。

2) 管理 PC にプリンタドライバが組み込まれている場合、WebUI で iStorage NS に接続するとプリンタ関連のエラーが iStorage NS のイベントログに出力されますが、これは動作上問題はありません。

3) WebUI のターミナルサービスを使って iStorage NS に接続すると、iStorage NS は最初に接続したクライアントのキーボード（例えば、106 日本語キーボードなど）を記憶します。このため、異なるキーボード（例えば、NEC PC9800 シリーズキーボードなど）を持つクライアントから接続すると正しくキー入力ができない場合があります。このような場合は iStorage NS を再起動後に接続してください。

4) [ネットワーク－ 管理 Web サイト － 管理サイトプロパティ]にて、「この IP アドレスのみ」を選択時に、選択可能となるドロップダウンリストボックスに同一アドレスが表示されることがありますが、どれを選んだ場合も正しく設定されます。

5) サーバーアプライアンス名を変更し、再起動すると、WebUI は自動的にそのサーバーへ再接続します。WebUI は、サーバーアプライアンスの古い名前を使用して、接続します（ほとんどのネットワークでは、古い名前を使って、サーバーアプライアンスの IP アドレスを解決します)。この場合、

古い名前は、状態バーに反映されています。ユーザーはブラウザウィンドウを閉じ、サーバーアプライアンスの新規名で再接続する必要があります(<http ://<new machine name>[:<administrator port number>]>)。サーバーアプライアンス名を変更する際は WebUI を<http ://<server IP address>[:<administrator port number>]> で接続してから変更することをお勧めします。

6) サーバーアプライアンス名の変更により、WebUI で［ログオン情報は正しくありません (80070002)］のエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーが発生した場合、いかなる情報もそのサーバーに送られてないので、名前の変更が有効になっていません。現在のブラウザセッションを閉じ、サーバーアプライアンスを再接続し、再び名前を変更します。